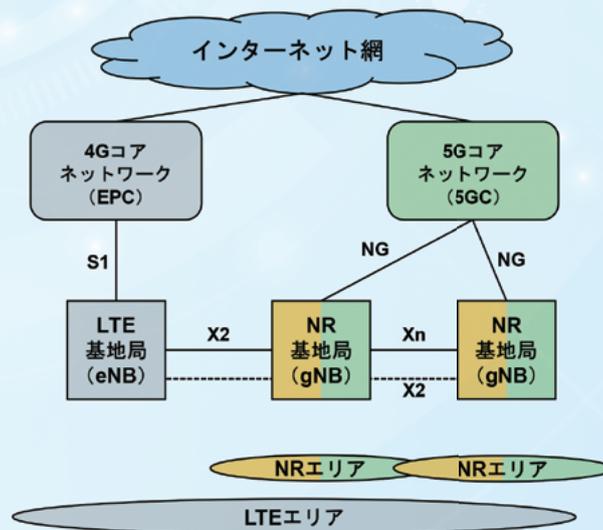


5G SA方式における コアネットワーク技術概要と 無線基地局装置の開発

NTTドコモは5G(第5世代移動通信システム)単独で動作する5G SA(Standalone)を実現するため、5G専用のコアネットワーク装置(5GC)を開発・導入し、2021年12月に法人向けとして、商用サービスを開始した。また、2022年8月に5G SA方式の一般消費者向け商用サービスも開始した。本特集では5G SA方式を実現するための各技術について紹介する。

5G SA方式を実現する5Gコアネットワーク技術概要 ——— 38

前世代4G(第4世代移動通信システム)/LTE(Long Term Evolution)のコアネットワーク装置であるEPC(Evolved Packet Core)と対比しつつ、2つの先進技術と新たな価値であるネットワークスライシングを中心に紹介する。



5G Standalone

5GC

ネットワークスライシング

優先制御

gNB

5G SA方式での音声通話を実現する コアネットワーク技術概要

41

5G単独で動作する5G SAの一般消費者向け商用サービスを提供するにあたり、5G SAでの音声通話サービスや5Gエリア外にて4G/LTEへの通信の引継ぎサービスを可能とする機能について紹介する。

5G SA方式に対応した無線基地局装置の開発

45

5G SA方式のシステム構成、「高速・大容量」に寄与する機能、呼処理制御機能、「安心・安全」を実現するためのアクセス規制機能について紹介する。